

休 学 願

20 年 月 日

女 子 美 術 大 学 長 殿
女子美術大学短期大学部学長 殿

☐ 大学院	科	専攻・領域・コース
☐ 芸術学部		研究領域
☐ 短期大学部	年 番	学籍コード ()
本人氏名 (自 署)		印
保証人氏名 (自 署)		印

私は下記の理由により休学いたしたく、保証人連署をもってお願いいたします。

休学理由：該当する主な理由(1つ)の番号を○で囲み、理由欄に詳細を記述してください		
1. 家庭の事情	2. 経済的理由	3. 健康上の理由
4. 海外留学のため	5. その他	
理由欄：具体的に記述してください *休学理由が3の場合は傷病名(症状等)を記入してください *休学理由が5の場合はより具体的な理由(経緯、状況)を記入してください		
休学期間：該当する期間に☑をしてください		
☐ 前期休学	4月1日～9月30日	(手続き締切日 5月31日必着) 復学日10月1日
☐ 後期休学	10月1日～3月31日	(手続き締切日 10月31日必着) 復学日 4月1日
☐ 通年休学	4月1日～3月31日	(手続き締切日 5月31日必着) 復学日 4月1日

<注意>

この願書を提出する前に必ず研究室で認印をもらうこと

- ※大学院生は指導教員の認印が必要
- ※学部・短大生は研究室の担任・主任の先生方の認印が必要
- ※認印のない願書は受け付けられません

【大学院】

指導教員

【大学・短大】

主 任	担 任
-----	-----

休学に関する確認事項(了承のうえ、☑をしてください)

- ☐ 本人・保証人(大学に届け出ている保証人と同一)それぞれが自署し、印鑑は別々のものを使用しています。
- ☐ 学則、学費納付に関する内規、「休学・退学の手続き」を確認し、全ての内容について了承しています。
- ☐ 休学中は履修ができないこと(履修登録した科目は履修中止とし評価対象外となること)を了承しています。
- ☐ 休学期間満了時は手続きなく復学となり、休学を延長する場合は再度願書の提出が必要であることを了承しています。

【資格課程履修】 ☐ 資格課程を履修していません。 / ☐ 教育支援センター窓口での履修相談が完了しています。

【高等教育の修学支援新制度・日本学生支援機構奨学金JASSO】 ☐ 利用していません。

☐ 奨学金・授業料減免について、学生支援センターで手続きを完了しています。 年 月

☐ 奨学金・授業料減免について、復学後、速やかに学生支援センターの窓口で手続きをします。

【特待生】 ☐ 特待生です。資格を取り消し、授業料減免額を返還する場合があることに同意します。

☐ 特待生ではありません。

【外国人留学生】 ☐ 国際センターに報告し、母国でも確認できるe-mail addressを記入しました。

e-mail : _____

- ・手続き締切日を過ぎての提出は、いかなる理由があっても認められません。
- ・願書は教育支援センター窓口へ提出してください。やむを得ない事情により窓口で提出が出来ない場合、教育支援センターにご相談ください。
- ・記入した内容を訂正する場合は、訂正印を押印してください。
- ・出産予定又は1歳未満の子の育児に関わる場合は、休学理由「5 その他」に○を付し、母子健康手帳(写し)を添付してください。
- ・許可書の写しについて、本人住所送付を希望する場合には返信用封筒を提出してください(原本は保証人住所に送付)。
- ※返信用封筒の提出がない場合は本人住所へは送付いたしません。

※ 大学使用欄

学 長	副学長	研究科長 芸術/短大学部長	教務部長	教学事務部長	センターG長
-----	-----	------------------	------	--------	--------

※ 教育支援センター記入欄

許可書	電 算	受 付
/	/	/
異動簿	工帳	記録力・学籍簿